



和太鼓ライブのワークショップで和太鼓体験をする子どもたち [5/4]



吉備路れんげまつりのステージ [4/29]



吉備路れんげまつりで50cmの総社ドッグ登場 [4/29]



吉備路れんげまつりでのお茶席 [4/29]



吉備再発見写生大会で五重塔を描く子ども [5/3]



天満屋ハピータウンリブ総社店で開かれたこどもの日イベント [5/5]

### 春の吉備路を楽しむ

#### 吉備路れんげウィークほか

4月29日から5月5日までのゴールデンウィーク期間中、「仙台七夕まつり」の応援をした吉備路れんげウィークをはじめ、写生大会、こどもの日イベントが開かれ、いずれの会場も家族連れらでにぎわいました。



和の饗宴で大蛇退治を舞う備中神楽総社社中 [5/1]

### 大屋根を間近で見る

#### 宝福寺の庫裏の大修理

宝福寺では今年2月から、国登録有形文化財の庫裏と玄関、食堂の保存修理工事を行っています。

4月16日、17日には一般公開もされ、日ごろ目にすることができない大屋根や床下などが見ることができました。工事関係者が「大屋根の瓦には瓦師の名を入れた刻印が多くある」「3つの瓦師による瓦で葺いている」などと説明。見学に訪れた人たちは「間近で見れてうれしい」と興味津々の様子でした。

屋根瓦の取り替えや、床下の補強、柱の傾きの修正などの修理を行い、平成24年8月の完成予定。大規模な修理は明治16年以来。



工事担当者から瓦の説明を熱心に聞く見学者



### 8年ぶりに車が通行

#### 豪渓の通行止め解除

通行止めとなっていた県道総社賀陽線の楨谷と吉備中央町岨谷間の2.4kmが4月15日、8年ぶりに車の通行が再開されました。

通行止めは、平成15年3月に起きた名勝豪渓での落石事故によるものです。以来、この一帯の約1.3kmの区間で落石防止の工事を実施。これまで部分的には車両や歩行者の通行が可能でしたが、この日から全面的に通行が可能となりました。



通行止めが解除された県道を走る車両

### ミニフォト

#### 100歳 おめでとうございます



祝福される平田さん

平田馬市さん(原)が5月7日、100歳の誕生日を迎えられ、県と市から記念品が贈られました。友人とおしゃべりをするのが好きという平田さん。長寿の秘訣は「好き嫌いをせず、何でも食べること」だそうです。

#### 読書の楽しさを知る



本を選ぶ子ども

子ども読書デーが4月23日・24日、市図書館で開かれ、子ども向け新刊・おすすめ本の紹介や読み聞かせが行われました。4月23日の「子ども読書の日」にちなんで開催。「本の世界を楽しんで」と、市図書館では呼び掛けていました。

#### 大空で泳ぐこいのぼり



こいのぼりの下でにっこり

子どもたちの健やかな成長を願い、見延子保育成会は4月23日、岡山自動車道の見延橋にこいのぼりをあげました。子どもとその保護者ら約45人がロープを引っ張ると、26匹のこいのぼりが大空を泳ぎ始めました。

#### 美袋駐在所で開所式



新築された美袋駐在所

美袋駐在所の開所式が4月25日に開かれ、関係者が完成を祝いました。交番から駐在所に体制を変えて移転新築し、3月12日に業務を開始しました。管轄は昭和地区全域の約1300世帯で、警察官1人が勤務します。

#### ニューヨークタイムズに載る



写真付で紹介された市の支援

市の電気自動車が東日本大震災の被災地で活躍している様子が、8日付けのニューヨークタイムズ紙に掲載されました。記事では、市が医療救援活動を行うアムダに貸し、4日かけて現地に送ったことなどが紹介されています。

#### メーデーを楽しむ



大道芸を楽しむ

吉備路ふれあいメーデーが4月24日、カミガツジプラザで開かれました。市内の20の労働組合が出店を出し盛り上げたほか、ステージではコンサートや大道芸が披露されました。会場には約1500人が訪れ、大いににぎわいました。